

鳴和中学校 1年6組学級通信

夢工房

特別号 2002.3.30発行

さようなら

1年6組

ありがとう

1年6組

もはや、担任の語ることなど何もない。
すでに、担任の手を離れたのだから。
我が子が、家を出て、独立するように……
ましてや、語り足りぬ、そして、育て足りぬのであるからには……

では、贈る言葉は、20世紀最大の科学者といえるであろう、アインシュタインの言葉から。

**わたしには、特殊な才能はありません。
ただ、熱狂的な好奇心があるだけです。**

あなたは、ほんとうにそう思っているんですか？
他人によって永遠の幸せが得られるなんて。
いくらその他人が、最愛の男だったとしても。
わたしは、自分自身の経験から、
男というものをよく知っています。
だって、わたしもそのひとりなんですから。
男に期待しすぎてはいけません。
このことは、わたしにはよくわかっています。

**蝶はもぐらではない。
でも、そのことを残念がる蝶はいないだろう。**

**どうして、自分を責めるんですか？
他人がちゃんと必要なときに責めてくれるんだから、いいじゃないですか。**

**人間性について絶望してはいけません。
なぜなら、わたしたちは人間なのですから。**